

令和４年度 和歌山県学力到達度調査（中学校）の結果の概要

調 査 の 概 要

１ 調 査 日 令和４年４月１９日（火）

２ 調査の目的

県内の中学生における生徒の学力の定着状況をきめ細かく把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における生徒への学習指導の改善・充実に役立てる。

３ 調査対象 中学校１・２・３学年

４ 調査内容 教科調査 第１学年・第２学年は国語、数学及び英語、第３学年は英語とする。

（出題範囲は、前学年までの学習内容とする）

全 国・・・業者テストを採用した児童・生徒の平均値

正答率・・・対象となる設問におけるその集団の正答率の平均値

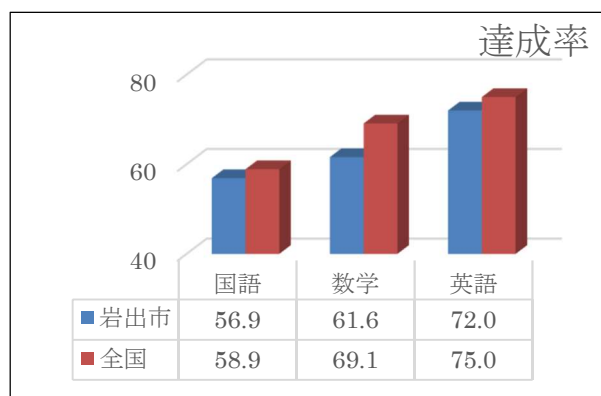
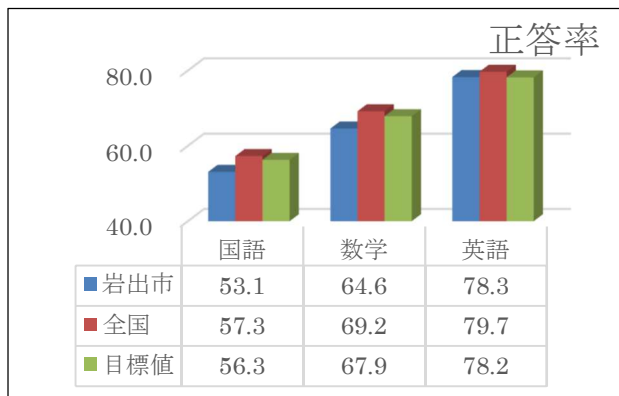
目標値・・・学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した生徒の割合を示したもの

達成率・・・目標値と同程度以上の正答率であった児童・生徒の割合

教 科 調 査

※○…説明事項 □…「できている」と考えられるもの ■…「課題がある」と考えられるもの

<中学校１年生>



【全体】

○市全体では、「国語」「数学」は、目標値・全国正答率を下回っている。「英語」は、目標値・全国正答率とほぼ同程度である。

○達成率では、「国語」は５６．９％、「英語」は７２．０％の生徒が目標値を達成しているが、全国値を下回っている。「数学」は６１．６％の生徒が目標値を達成しているが、全国値を下回り差がある。

○正答率度数分布では、「国語」は正答率が中位層に厚く分布しており上位層が少ない。「数学」は正答率は比較的中位層に厚く分布している。「英語」は正答率が上位層に厚く分布している。

【国語】

□「インタビューの内容を聞き取る」の『話の内容を捉えている』問題は、目標値・全国正答率を上回っている。

■「インタビューの内容を聞き取る」の『意図に応じて、話の内容を捉え適切な質問をしている』、「文法・語句に関する事項」の『連用修飾語について理解する』、「資料をもとに話し合う」の『互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする』、「文章を書く」の『自分の考えを明確に書く』問題は、目標値を大きく下回り、正答率も低く課題がある。

【数学】

□「小数・分数の計算」の『同分母分数の減法（約分あり）の計算』、「比と比例・反比例」の『8：6と等しい比でないものを選ぶ』、「平均・場合の数」の『4種類の中から2種類の花を選ぶときの選び方が何通りあるかを求める』問題は、目標値、全国平均正答率を上回っている。

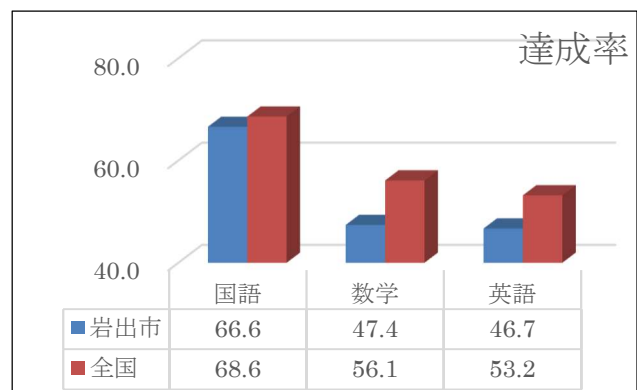
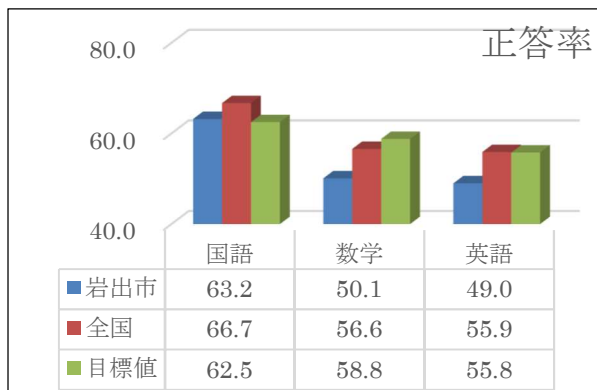
■「単位量あたりの大きさ」の『単位量あたりの値を求める式を選ぶ』、「データの活用」の『ドットプロットから中央値を読み取る』、「いろいろなグラフの読み取り」の『帯グラフを読み取る』問題は、目標値を大きく下回り、正答率も低く大きな課題がある。

【英語】

□「単語の意味理解（聞く）」の『身近で簡単な語を聞き、その意味を理解する（職業）』、「アルファベットの書き（聞く）」の『音声を聞き活字体の大文字を正しく書く』、「日常会話の理解（聞く）」の『身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取り、その内容を理解する（できないこと）』問題は、目標値、全国平均正答率ともに上回っている。

■「日常会話の理解（聞く）」の『時間割について具体的な情報を聞き取り、その内容を理解する』問題は、目標値を大きく下回り、正答率も低く課題がある。

<中学校2年生>



【全体】

○市全体では、「国語」は、目標値は全国値と同程度であるが、正答率は全国を下回っている。「数学」「英語」は、目標値・全国正答率を下回っている。

○達成率では、「国語」は66.6%の生徒が目標値を達成しており全国値とほぼ同程度である。「数学」は47.4%、「英語」は46.7%の生徒が目標値を達成しているが、ともに全国値を下回り差がある。

○正答率度数分布では、「国語」の正答率は上位・中位・下位層、各層へのバラつき傾向がある。

「数学」「英語」の正答率は、上位・中位・下位層、各層に広がり分散している。

【国語】

□「漢字を読む」の『第1学年までに学習した漢字を正しく読む』問題は、目標値、全国正答率ともに上回っている。「文章を書く」内容は、すべての問題で目標値を上回っている。

■「話し合いの内容を聞き取る」の『話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる』、「コマ遊びについてスピーチする」の『情報と情報との関係について理解し、自分の考えが明確になるように、話の構成を考える』問題は、目標値を大きく下回り、正答率も低く課題がある。

【数学】

□「空間図形」の『直方体の辺のねじれの位置関係について理解している』『底面積が等しい円錐と円柱の体積の関係について理解している』の問題は、目標値・全国正答率を上回っている。

■「データの分布の傾向」の『度数分布表から、ある階級の相対度数を求める方法を理解している』『2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いる理由を理解している』、「平面図形」の『示された模様同士の関係を回転移動を用いて説明する』問題は、目標値を大きく下回り、正答率も低く課題がある。

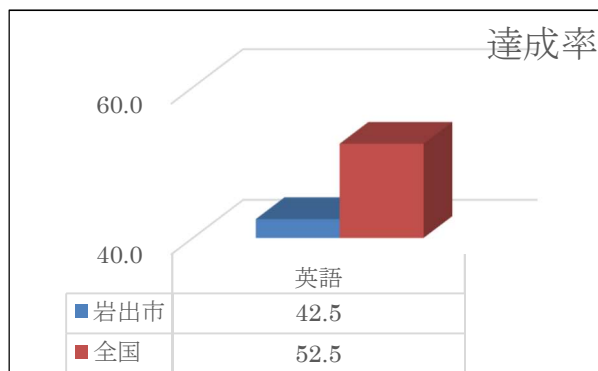
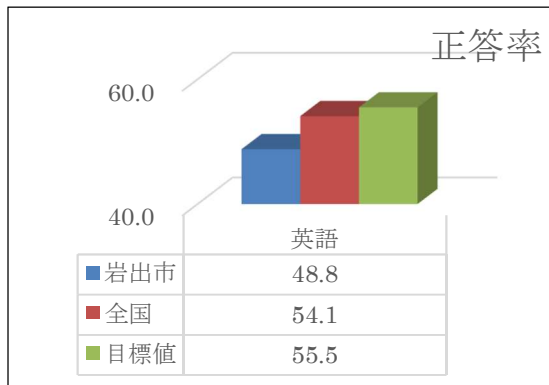
【英語】

□「語彙の知識・理解」の『英文の情報を正しく読み取ることができる』問題は、目標値を大きく上回って

いる。

■「リスニング（さまざまな英文の聞き取り）」の『たずねられたことに対して自分の考えを英語でこたえる』、「長文の読み取り」の『読み取った内容をふまえて、対話文を完成させる』、「情報に基づいて書く英作文」の『与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書く』問題は、目標値を大きく下回り、正答率も低く課題がある。

<中学校3年生>



【全体】

○市全体では、「英語」は、目標値・全国正答率ともに下回っている。

○達成率では、「英語」は42.5%の生徒が目標値を達成しているが、全国値を大きく下回っている。

○正答率度数分布では、「英語」の正答率は、上位・中位・下位層、各層に広がり分散している。

【英語】

□「リスニング（内容理解）」の『絵を適切に表している英文を聞き取ることができる（状況）』の問題は、目標値を上回っている。

■「リスニング（対話文の応答）」の『対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語でこたえることができる』、「長文の読み取り」の『メールの内容をふまえて、適切な語を補う』、「場面に応じて書く英作文」の『対話の流れに合った英文を書く（When を使って時をたずねる）』、「3文以上の英作文」の『部活動に対する自分の考えや意見について、まとめた内容で説明する文を書く』問題は、目標値を大きく下回り、正答率も低く課題がある。